算数科 小学校 2年

単元名 「長さ」
啓林館 「わくわく算数2上」

単元の流れ（全8時間）

【第1時】
主な学習内容
◇長さ比べに関心をもち、長さを測るための媒介物（単位）を使って比べる。

「活用」の力の育成のために
長さを比べた時のコミュニケーションの行き違いから、その原因について筋道を立てて考え、任意単位や普遍単位（cm、mm）の必要性に気付かせる。（ポイント②④）

【第2時】
主な学習内容
◇長さを測るにはものさしを使うことや、単位としてcmを用いることを理解する。

「活用」の力の育成のために
ものさしによる正確な測定の仕方について考え、説明させる。（ポイント④）

【第3時】
主な学習内容
◇長さの単位mmがあることや1 cm＝10 mmであることを知り、mmの単位まで測定する。

【第4時】
主な学習内容
◇ものさしを使ってmmの単位まで長さを測り、cmとmmの相互関係を理解する。

【第5時】
主な学習内容
◇ものさしを使って決められた長さの直線をかいたり、手や指を使って決められた長さを表したりすることができる。

「活用」の力の育成のために
ものさしを使い、直線でかいた作品を作らせる。（ポイント①）

【第6時】
主な学習内容
◇簡単な場合の長さのたし算やひき算をする。ものさしを使って決められた長さの直線をかいたり、手や指を使って決められた長さを表したりする。

【第7時】（本時）
主な学習内容
◇身の回りの物の長さを見積もったり、測ったりする。

「活用」の力の育成のために
・自分の身の回りの物を見積もりを立ててから測定させる。（ポイント①③）
・自分が測定した身の回りの物をクイズ形式で発表したり、友だちの測定したものについて見積もったり測定したりさせる。（ポイント①③④）

【第8時】
主な学習内容
◇学習内容の自己評価と振り返り

評価問題 CLICK

単元目標
○長さの普遍単位（cm、mm）について理解し、ものさしを使って長さを測ったり、直線を書いたりする。

単元構成の意図

長さの普遍単位(cm、mm)の導入にあたっては、共通の単位の必要性に気付かせることが大切である。その際、条件を統一して比較したり、筋道立てて考えたりする活動を重視したい。

「30 cmものさし」を用いて長さを測定する。その方法についても、どのように使うと正確に測定できるのかを考えさせ、簡単な接続語（はじめに・次に）を用いて説明させるようにしたい。

また、長さを測定する技能を習得させるだけでなく、身の回りの物のおおよその長さを見積もる活動を取り入れたい。この「見積もり」は、日常生活のいろいろな問題解決の場面で、大いに役立つと考えられる。

「活用」の力を育てるポイント

① 自分の身の回りの物を測定したり直線を使って作品をつくったりすることを通して、実生活に活用しようとする意欲を育てる。
② 長さを比べる方法について、筋道立てて考え、普遍単位(cm、mm)の必要性に気付かせる。
③ 長さの見積もりや測定を通して、長さの量感を育てる。
④ 自分の考えを他者と交流することにより、違った視点に気付かせたり、情報を収集させたりする。

HOME 本時の流れへ 授業展開例へ